

## ちよだの森歯科診療所

正会員 小川博央君

2つの機能をグリッドモジュールで積極的に組み込んだオーナー居宅を併設した歯科診療所である。開口は最小限とした外壁で診療所は構成するとともに、複数の坪庭的中庭を配置し、徹底した空の取り込みが行われている。平面計画は歯科診療の現場の空間を探求しつくした2.7mグリッドのモジュールを採用し、そのグリッドを住宅まで展開しつつも住居は適度の開放感を持たせるバルコニーや高窓が周囲の自然を取り込むように配置されている。寄棟の勾配屋根を生かした変化ある天井高が、グリッド平面の単調さを上下の変化で打ち消している。開口の少ない外壁は、厳しい冬季の季節風と夏季の猛暑に対して内部を包み込む安心感を与える結果となり快適な空間を創りだしている。2.7mグリッドの徹底した計画が実体験できる意欲的な建築空間を創りだしている。

(「作品選集2013」選評より)